

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	令和7年度とつか さくら塾		
事業の実施者	団体等	NPO 法人くみんネットワークとつか（とつか区民活動センター）	
	行政	横浜市戸塚区区政推進課	
事業の目的	地域で活動する区民が学び合い、地域課題を解決する「自治の力」を高め、誰もが住みたくなる・住み続けたくなる地域づくりに取り組む場を提供する。 地域活動を始めたい人が、講座を通じて仲間をつくり、活動に必要な知識や心構えを身につけることを目指す。		
事業の内容	子ども・青少年に関する地域活動について、講義やグループワークを通じて学び、活動計画を作成することで、地域活動を始める第一歩を支援する。全4回の講座では、地域での活動事例紹介や現場見学・体験を行い、参加者が自分の活動プランを作成する。		
役割及び責任 分担等	項目	NPO 法人くみんネットワークとつか (とつか区民活動センター)	横浜市
	企画、連絡調整	企画、講師・関係機関等との連絡調整	企画、連絡調整補助
	広報、受講者募集 及び受講者への連絡	広報物（チラシ等）の作成、広報	広報、申込受付、受講者への連絡
	講座当日運営及び 備品等の準備	運営監理、グループワーク支援等	資料印刷、運営補助、 グループワーク支援
	記録、報告書の作成	記録、報告書の作成	記録、アンケート調査・集計
	振り返り、受講生のフォローアップ	振り返り、受講生のフォローアップ	振り返り、受講生のフォローアップ
実施期間	令和7年6月10日から令和8年3月31日		

記入日	令和 8 年 3 月 31 日
記入者	・団体等名： NPO 法人くみんネットワークとつか ・記入責任者（連絡先）（とつか区民活動センター） 中田 愛（045-825-6773）
	[行政] 横浜市戸塚区役所 ・部署名： 区政推進課 ・記入責任者 松本 未来（045-866-8328）

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・協働して事業計画をつくる過程で、地域支援に関する情報やノウハウを共有しながら計画内容を協議できた。 ・実施内容の検討・打合せを重ねることで、事業の目的を共有し、講座の計画づくりに反映できた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・スケジュール調整を早めに行い、余裕を持った進行を心がける。
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・計画段階から事務局で協議を重ね、事業の目的を確認しながら講座構成や資料準備を進めることができた。 ・受講生同士の交流を重視し、グループワークや意見交換を取り入れたことで、学び合いとつながりづくりを実現できた。グループワークの際は、毎回メンバーの組み合わせを工夫し、多くの受講生が交流できる機会を設けた。 ・講座や現場見学会では受講生が気軽に発言しやすい雰囲気づくりを事務局全員で意識し、実践できた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・回を重ねるごとに参加人数が減少したことが課題。継続参加を促す仕組みを検討する。 ・交流機会は導入できたが、交流時間が十分ではないとの意見があったため、グループワークや意見交換の時間を増やす工夫が必要。
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・講座を通じて、受講生同士の交流や学び合いの場をつくることができ、地域活動への第一歩を踏み出すきっかけとなった。 ・計画段階から協議を重ねることで、事業の目的を共有し、講座構成や資料準備に反映できた。 ・交流機会を設けたことで、参加者から「多様な意見を聞いて勉強になった」という声があり、学びの質を高めることができた。
<b>自由記入欄</b>
・地域の担い手づくりに向けて連携・協働して取り組むことは重要であり、地域課題を共有する場にもつながっている。